

## プロフィール

### 指揮：延原武春

18世紀音楽を専門とする指揮者。1963年にテレマン室内オーケストラを創設。1982年、初演当時の編成とベートーヴェンの指定したテンポで「第九」を演奏（世界初）。2008年にはベートーヴェンの交響曲全曲を、作曲家指定のテンポとクラシカル楽器を使用して指揮。この公演が引き金となってドイツ連邦共和国より「功勞勲章功勞十字小綬章」が贈られた。2010年から3年をかけ大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮。ベートーヴェンの交響曲全曲を好演し話題となった。



### テレマン室内オーケストラ

1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。「第17回サントリー音楽賞」を受賞した日本初のプロオーケストラでもある。そのほかの主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」（関西初）等。2012年にはドイツよりバロック・ヴァイオリン奏者ウツラ・ブンディース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。



### 千住真理子（ヴァイオリン）

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」<完全版>を再リリース。春には「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.2」をリリースした。またデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を行う。2021年7月に最新アルバム「蛍の光～ピースフル・メロディ」をリリース。コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」（時事通信社、文藝春秋社文春文庫）母との共著「母と娘の協奏曲」（時事通信社）など多数。千住真理子オフィシャル・ホームページ <https://www.marikosenju.com/>



©Kiyotaka Saito (SCOPE)

### 新型コロナウイルス感染症に伴うお願い

- ・咳エチケット、不織布マスク着用、手洗い・手指の消毒を徹底してください。
- ・社会的距離の確保を徹底してください。
- ・37.5℃以上の発熱がある場合や他に症状がある場合も来場を控えてください。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演が延期又は中止となる場合があります。
- ・緊急連絡先等の個人情報の提供にご協力ください。
- ・他の参加者の安全を確保する等の観点から参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。
- ・チケットの販売は開催県内在住者のみが対象となります。

## 宝くじの収益金は

学校、図書館等の教育施設の整備をはじめ、  
公園、社会福祉施設等の建設改修など、  
皆様の日常生活に役立つように使われています。



このイベントは、宝くじ社会貢献広報事業の一環として実施しています。 一般財団法人 自治総合センター